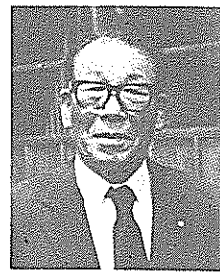


楽しい遊具に大喜び

池知正男さんの善意で 三和小



池知正男さん

「お世話になった母校のために役立ててください」と、昨年十二月、高知市で整骨院を営む池知正男さん（七十七歳）から、母校の三和小学校（上田増実校長、児童数三百四十一人）へ百万円が寄付されました。



組み合わせネットなど、楽しい遊具で遊ぶ子どもたち

三和小は、五十八年度から文部省の指定を受け、三年計画で「体力づくり推進校」として、活発な活動を続けています。そこで、このお金で「子どもたちの体力づくりに役立つ遊具をそろえては」となり、組み合わせネット、タイヤタワー、つり輪など七種類の最新の遊具を購入。四月には、校庭の西側に取り付けられました。

休み時間になると、子どもたちは校庭へ飛び出し、遊びに熱中。「みんなが外で遊ぶようになった」「つり輪が一番おもしろい」「池知のおじさん、楽しい遊具をありがとう」と、子どもたちは大喜びです。

池知さんは、小学校時代はわんぱくで、その後柔道に熱中し、県遊んでいます。

稲生簡易水道施設が新しく

年金積立金の融資受け

昭和二十四年に設置された稲生簡易水道は、昭和四十四年度に施設の拡張が行われました。しかしその後、使用水量の増加による水圧低下、配水管の老朽化による破裂事故など、地元の方に大変迷惑をかけてきました。

そこで水道局では、年金積立金より融資を受け、口径の大きな配水管、送水管の布設替えを進め、その工事が三月末に完成。これに



延長4935メートルにわたる布設替え工事

下的にも知られた柔道家として、各学校や警察で、その指導にあたってきた方です。

とかく最近の子どもは、運動不足がちでテレビばかりの子が多いと言われますが、三和小の子どもたちは、六十五年前の卒業生の善意でできた設備で、今のびのびと遊んでいます。

「ご家庭で話し合って答えをください。答えは、この広報に出ています。」

■もんだい「南国みどり館」には、会期中約〇十万人が入場しました。

■しめきり・6月15日

■あて先・〒783 南国市大坪甲2301 南国市役所内広報委員会親子クイズ係

■答えのハガキには必ず、住所氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品・正解者の中から、抽選で五人に図書券を進呈。

第14回正解者発表(敬称略)
(応募総数47通)

■答え・①②③

■当選者五人

北村真人(下野田)
野口笑子(西山)
高木まゆみ(前浜)
浜田政喜(明見)
宮本精一(久礼田)

自作の歌10曲をテープに

浜改田の中村弥栄子さん



曲のイメージは農作業のときと、中村さん

二十一年間に三十曲の歌を作詞、作曲、その中から十曲を選びカセットテープに吹き込んだ、歌づくりお母さんがいます。

たし、これなら私にもできそう」と作曲を始めました。

詞や曲のイメージが浮かぶのは、農作業のとき。「最初は楽譜も書けず、知人の紹介で一宮中学校の岡崎素輪先生(現在、南国市社会教育指導員)に採譜してもらいました。それ以来、ずっと指導をお願いしています」

曲づくりは、夜、家事を終えた後、少しずつ作るので年に一、二曲とのこと。

その中の一曲が、六年前「あなたのメロデー」に採用され、そのとき、自分の曲をレコードにしてみようと思いましたが、費用が高つくのでまず、カセットテープに吹き込んで、今年四月に完成。「田舎のうた」というタイトルで百本作りました。

これは、「生活の中から感じた



植田の安産阿弥陀堂
「アリヤ、三浦百恵さんがきたア」

ことを、そのまま表現した」とのことです。

A面は演歌が五曲。B面にはフォーク調で五曲収め、編曲は高知市の音楽家、大野けんじさんに依頼。大野さんら五人が歌っています。

「皆さんのおかげでテープができました。それと、家族の協力がなければ、何一つできなかったと思います。五十歳までに、人生の区切りとして何かしたいと思っていましたので、本当に幸せです。今度は、評判のいい二曲をレコードにしたいです」と中村さん。

これからも、生活に根ざした歌を作っていきたいと、張切っています。

南国歌壇

南国柳壇

南国俳壇

道の師に習ひし技を守るとぞ
墨打つその身殿のごとしも
西野田 吉川定子
久々に息の家訪えは床の間に
吾の送りし文供えあり
篠原 小松延江
幾世経し山を彩るつつじ花
去年に変わらぬ色香匂いて
立田 池田小村

ひきずりて帰りし君の足音を
確かめ眠る夜の病棟
植野 永野美由
海はるか白き船ゆくそこだけが
夕闇のなか暮れ残り映ゆ
篠原 山本 茂

活気ある職場にさせた民主主義
岡豊町 橋田井波
農繁期機械の出番で妻太り
前浜 大原正明
離乳食アーンと我も口を開け
立田 北村幸江
風情あり山田に二つ三つ田植笠
十市 沢村鶴一

杉花粉おとこの愚痴を聞いてやる
転動と定まりし夜の蠅汁
いたわりの嫁の言葉よ白梅よ
弟子集ふこの葉校の大き森
後を追ひとふ同族の草の繁
師の句碑の文字に接みつつかたつむり
菜の花のそこのみ今日の暮れなづむ
菜の花や相谷は幾重も谷の底
老遍路手さぐりてよむしるべ石

公文政子(忍冬句会)
小松ふみ()
岡崎美枝()
井上なるき(天狼俳句会)
中村榮生()
沢田たかほ()
北村彌壽(おがたま会)
岡本益竜()
小笠原葵()